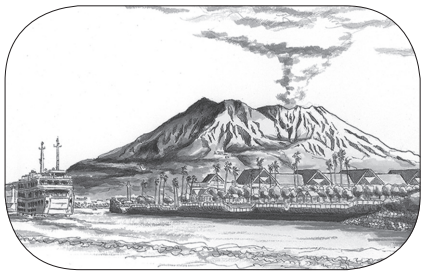
令和５年５月20日発行
通巻　第　536号　4･5月号



令和５年度

鹿児島の教育

4･5月号

巻頭言

思考のメンテナンス

一般財団法人鹿児島県校長会館理事長
県連合校長協会会長
鶴丸高等学校長
前田光久

連合校長協会は、昨年度百五十二名が退職により退会し、今年度百五十名を新たに迎え、小学校長部会長に宮田研郎（名山小）校長、中学校部会長に中山恭平（清水中）校長が就任した。全国でも珍しい四校種校長会の連合体という特性を生かしながら、当面する様々な教育課題の解決に向け、今年度も会員の皆様の積極的な取組と相互の連携・協力をお願いしたい。

さて、今年度新たに就任された地頭所恵県教育長は、四月上旬に開催された県立学校長会の講話の中で、「大変革期にある教育界においては、流れを見据えた上で、県民の期待に応えるため、人・ものをマネジメントしつつ職員を導くことが大切である」とし、気概溢れる教職員の育成には校長のリーダーシップが不可欠であると述べられた。

予測困難な時代には、これまでの「常識」や「当たり前」は必ずしも通用しない。学校経営者たる校長自身の発想や判断においても同様であり、ベテランであればあるほど、経験値に頼らず全てをリセットした上で客観的な視座を持つことが求められる。

今、「アンラーン」という概念が注目されている。アンラーンとは「完成されたスキルや知識をあえて『不完全段階』に戻して、可能性を広げること」「これまで身に付けてきた『思考のクセ』（パターン化した意志決定プロセス）を取り払い、柔軟な発想ができるようにしておくこと」（柳川範之・為末大共著「Unlearn ～人生一〇〇年時代の新しい「学び」日経ＢＰ、二〇二二年）とされる。この概念は、例えば、会議の持ち方や資料の作り方、合意形成の過程等に関してそれまでのお決まりのパターンを見直すことや慣例化した学校行事についてその意義や教育的効果を再検討する際に有効なものとなりうるであろう。

とは言え、既定路線の変更には相応の抵抗も予想され、たとえ無批判的にルーティン化した「学校カルチャー」であってもそれを変えるためにはそれなりの手間と決断に向かう勇気が必要となる。であればこそ、学校経営におけるアンラーンの実現には校長自らのリーダーシップの発揮が必須であると言える。

前例踏襲的な思考は大勢に影響せずその場は無難に過ぎるが、変革期にありながら思考停止に陥らないためにも、我々管理職が率先して一旦立ち止まり、学校運営に係る「思考のメンテナンス」に取り組んでみてはいかがだろうか。

令和５(2023)年 4･5月号
一般財団法人鹿児島県校長会館
〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目32-13
振替 02030-1-3192
TEL 257-9676 FAX 257-9679
㈲ アート印刷
鹿児島市東坂元二丁目29-1
TEL 247-1605 FAX 247-2844

＊おもな内容＊

巻頭言 …… 1
提言 …… 2
退任にあたって …… 4
新任の抱負 …… 8
ある日の校長講話 …… 12
読書案内 …… 14
一般㈶県校長会館だより …… 16
編集後記 …… 16

表紙絵（桜島のデッサン）４・５月号～９月号　菱田小学校　福森　真一
題　字（鹿児島の教育）４・５月号～２・３月号　永野小学校　田邑八重子